

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライフサポートセンターなごみ園		
○保護者評価実施期間	2025年1月27日	~	2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年1月10日	~	2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度の3項目に関して、高い評価をいただけたこと。 ・子どもは通所を楽しみにしていますか。 ・事業所の支援に満足していますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前の説明や、子ども一人ひとりに合わせた支援を行うように努めています。</li> <li>毎日の活動内容にも工夫を行い、子どもが興味を持ちやすい遊びや学びを取り入れ、楽しみながら成長できるようなプログラムを提供するよう努めています。また、支援スタッフが常に子どもの様子を見守り、必要に応じて柔軟に対応できるよう体制を整えることを大切にしています。</li> </ul>	引き続き、ご意見をお聞かせいただきながら、個別のニーズに応じた支援を提供し、お子さまが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。
2	保護者への説明について	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動概要や行事予定については、コドモンアプリを用いて、お知らせを行い、保護者が連絡、相談を手軽に行うことができるようになっています。</li> <li>個別にも対応でき、PDFを添付できるなどのメリットも多くあります。</li> <li>保護者会でマニュアル等の説明を行うが、参加できなかった際には面談などを通じて別日に周知できるように努めています。</li> </ul>	今後も引き続き、子どもの支援内容や活動について、保護者の皆さまにわかりやすく丁寧に説明させていただきます。お子さまの成長についても、こまめに情報を共有できるよう心掛けてまいります。
3	職員の配置数	子ども一人ひとりに丁寧な支援を行い、安心して過ごせる環境を維持できるよう基準値よりも多くの職員を配置しています	今後も、子どもたちが安心して通所できる環境づくりを最優先とし、保護者の皆様のご意見を真摯に受け止めながら、より質の高い支援を提供できるよう努めてまいります。

。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現時点で地域の他の子どもと活動する機会はほとんどありませんが、それに対するニーズも少ないため、特に取り組みを強化しているわけでもない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後等デイサービスを利用する子どもの中には、慣れた環境や特定のメンバーと過ごす方が安心できるケースが多く、新しい環境や他の子どもとの活動には負担を感じる場合があります。</li> <li>保護者の中には、子どもの発達支援や日々の安全な預かりを重視しており、地域交流に対するニーズが無い方もいらっしゃる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが負担に感じない形での交流を模索する。</li> <li>事業所内でできる「安心・安全な活動」の中に地域性を取り入れる。</li> <li>必要性が出てきた場合には、地域資源を活用した活動を検討し、子どもたちにとって最適な環境を提供できるよう努める。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援について</li> <li>昨年度は頑張り賞（イベント）にて保護者会、きょうだいの交流の場を設けた。その際に参加できなかった保護者もいた。</li> <li>マニュアルの説明やガイドラインの改正などの報告が多く、直接的な保護者同士のやりの時間が持てなかった。</li> </ul>	<p>コロナ禍で中止していた理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染リスクへの懸念</li> <li>感染防止策の遵守</li> <li>行政や保健所からの感染対策ガイドラインに基づき、会議やイベントの実施が制限されていた。</li> <li>忙しい保護者が、追加の活動（保護者会や交流会）に参加することが難しい場合がある。</li> <li>プライバシーの懸念</li> </ul> <p>他の保護者との交流を望まない保護者がいることも考えられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて新たな形式を取り入れながら、家族全体で安心して事業所を利用できる環境を構築する。</li> <li>コロナ禍を経て中止していた取り組みを再開するために、安全性の確保と保護者のニーズに即した活動計画を立てる。</li> </ul>
3	子どもや家族からの相談や申入れに対しての、対応の体制が整備。子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者の配置が明確でなく、相談対応が属人になってしまった。</li> <li>子どもや保護者が気軽に相談できる環境が整っていないかった。</li> <li>相談した際に対応が遅れたり、十分なフォローがなされなかつたことで、相談を避ける傾向があった。</li> <li>フィードバックの仕組みが不足</li> <li>相談や申入れの内容を対応、検証する仕組みが十分ではなかつた。</li> <li>相談後のフォローアップが不足し、解決に向けた取り組みが見えにくかつた。</li> </ul>	相談・申入れの体制をより充実させ、子どもや保護者が安心して利用できる環境を整えることができます。